

3. 現地調査

(1) 概要

今回の地震では、東日本を中心に広い範囲で強い揺れを観測した他、東北地方から関東地方北部の太平洋沿岸を中心に広い範囲で津波を観測した。この津波により各地で甚大な被害が発生した。

気象庁では各地の津波による被害や津波の到達状況（津波観測施設とその周辺地域）および地震動による被害状況について現地調査を実施した。津波現地調査の結果、岩手県沿岸では、10m を超える津波が到達していたことが判明したほか、北海道から四国にいたる太平洋沿岸各地で数 m の津波の痕跡を観測した。また、地震動による被害も東日本の広範囲にわたっている。

表 3-1-1 津波現地調査実施日及び実施官署

	実施官署	調査実施日	調査対象市町村
札幌管内	札幌管区気象台 帯広測候所	3月15～16日	浦幌町、豊頃町、大樹町、広尾町、
	札幌管区気象台	3月14～16日	日高町、新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町
	函館海洋気象台	3月14～16日	函館市、八雲町、長万部町、森町、鹿部町
	室蘭地方気象台	3月14～15日	豊浦町、洞爺湖町、伊達市、室蘭市、登別市、白老町、苫小牧市、厚真町、むかわ町、日高町
	釧路地方気象台	3月14～16日	釧路市、釧路町、白糖町、厚岸町、浜中町、根室市、標津町
仙台管内	青森地方気象台	3月29～30日	八戸市、むつ市、六ヶ所村
	盛岡地方気象台	3月28～30日	久慈市、宮古市、釜石市
	気象庁本庁	3月29～30日	大船渡市
	仙台管区気象台	3月28日 4月1日	石巻市、仙台市、東松島市、塩釜市、松島町、利府町、七ヶ浜町、相馬市
	気象庁本庁	4月2～3日	相馬市、いわき市
東京管内	気象研究所	3月26日	北茨城市、日立市
	気象研究所 水戸地方気象台	3月25日	ひたちなか市、大洗町
	気象庁本庁 銚子地方気象台	3月25日	銚子市
	気象庁本庁	3月26日	銚田市、神栖市
	銚子地方気象台	3月29日	銚子市
	気象研究所	4月12日～13日	旭市
	津地方気象台	3月14日、3月25日 3月28日	鳥羽市、伊勢市、紀北町
大阪管内	和歌山地方気象台	3月14～15日	海南市、由良町、白浜町、田辺市、串本町、那智勝浦町、太地町
	徳島地方気象台	3月13日、3月16日 4月15日	阿南市、小松島市、美波町、牟岐町、海陽町
	高知地方気象台	3月14日、3月25日 3月29～30日 4月8日、4月12日	須崎市、土佐市、中土佐町、土佐清水市、大月町、宿毛市、四万十市、黒潮町、室戸市、田野町、安田町、安芸市、香南市

<津波観測施設の表記について>

津波観測施設の呼称は所属する機関によって以下の表記とした。

- ・ 気象庁、国土交通省： 検潮所または津波観測施設
- ・ 海上保安庁： 験潮所
- ・ 国土地理院： 験潮場
- ・ 地方公共団体： 検潮所

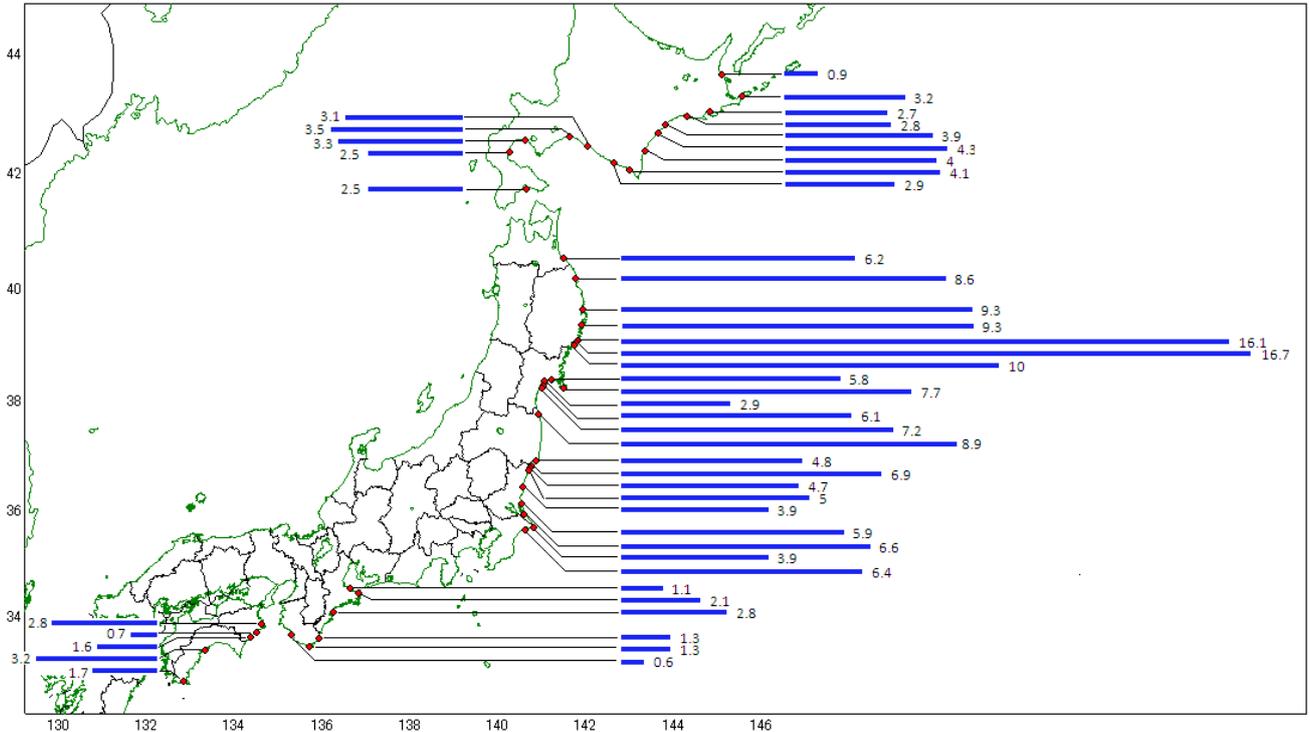


図 3-1-1 主な調査地点における津波の痕跡から推定した津波の高さ（* 数字は津波の高さ（m））

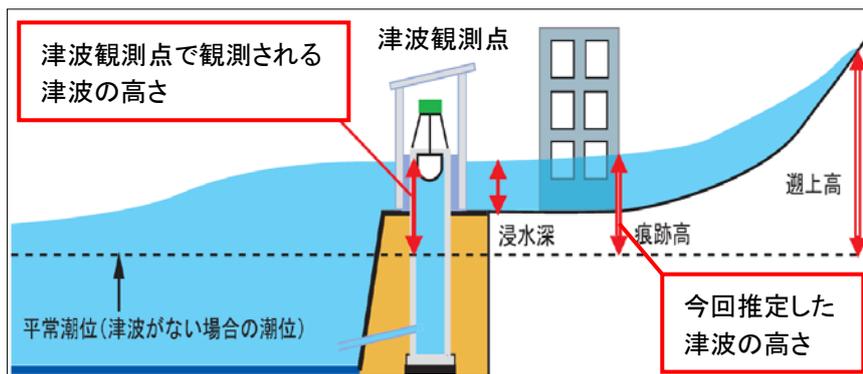


図 3-1-2 津波観測点における津波の高さと痕跡高の関係

※ 現地調査における津波の高さとは、津波がない場合の潮位（平常潮位）から、津波によって海面が上昇した高さの差を言う。平常潮位の推定には、最寄りの検潮所における津波の最大波が観測された日時の潮位の予測値（天文潮位）を用いており、現地調査で確認した津波の痕跡までの高さの差を痕跡高としている。